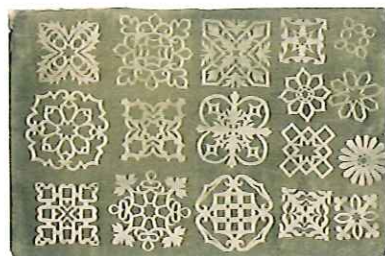




a(5点)

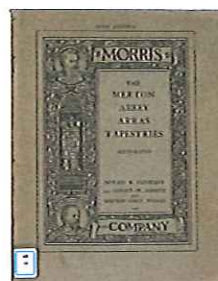


『アーツ・アンド・クラフツ運動の文献コレクション』

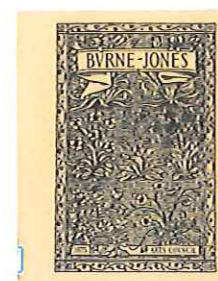
本学は、20世紀モダンデザインの源流ともいわれる「アーツ・アンド・クラフツ運動」関連の文献および作品 800点あまりを所蔵している。その多くはデザイン・建築史の研究者ステュワート・ダラントが収集した個人コレクションであり、議会記録、書籍、定期刊行物、カタログ、作品、研究書などを含み、その後のデザインや美術活動に大きな影響を与えた活動の多様な側面を知ることができる。

「アーツ・アンド・クラフツ運動」は19世紀後半から20世紀初めにかけて英国で展開された思想およびその実践活動である。18世紀に産業革命を経た英国では、工場で大量生産された安価で粗雑な商品が流通した一方で、伝統的な職人の技術は軽視され衰退していった。詩人、思想家、デザイナーであったウィリアム・モリスは工業化により創造性が枯渇すると危惧し、中世の手仕事の伝統を重視して、日常に使うものを本物とすることで、社会を再生しようと試みた。彼の考え方は美術評論家ジョン・ラスキンの影響を強く受けている。彼らに賛同する多くの画家、建築家、デザイナー、工芸作家は、労働の喜びや手仕事の美しさを取り戻すという主張のもとに、生活と芸術を一致させようとさまざまな創作活動を行った。壁紙、ステンドグラス、カーペット、織物、家具など室内装飾、インテリア製品から、カリグラフィー(装飾文字)、本の装丁、絵画、建築、町の設計、景観デザインなど、このコレクションを通して、多岐にわたるその活動と実践をたどることができ、彼らの批判した「工業化」の意味を改めて考えさせられる。

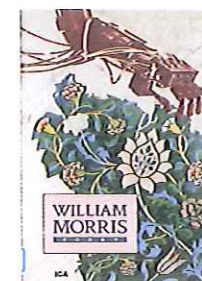
今回ご紹介した資料は2～3月に展示を予定しています。



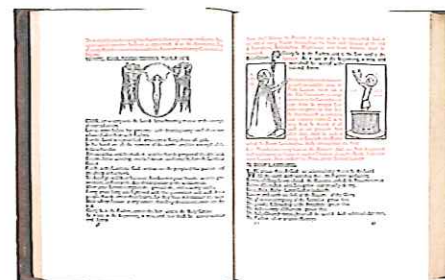
b



c



d



e



f

多くのコレクションの中から、その特徴をよく表す作品を6点ご紹介する。

- a) William Galsworthy Davie, *A Portfolio of Original Drawings and Designs*, 1860s-1905. 「A & C運動」の典型的な作品例。オリジナルの壁紙5点。
- b) Armer Vallance, *The Merton Abbey Arras Tapestries Illustrated*. London and Merton Abbey: Morris & Company, 1909. モリスは1879年以降タペストリー制作を行ったが、その図案を紹介した本。図案はバーン=ジョーンズ、ウィリアム・モリス、フィリップ・ウェップによるものが多い。
- c) Malcolm Bell, *Sir Edward Burne-Jones. A record and review*. London & New York: George Bell & Sons, 1894. モリスと親しかったラファエル前派の画家・デザイナー、エドワード・バーン=ジョーンズの解説書。初版は1882年で、これはその第3版。
- d) *William Morris Today*. Institute of Contemporary Arts, 1986. モリス作品のカタログ。
- e) *The Prayer Book of King Edward VII*. 1901. 美しい装丁と特徴的な活字の祈祷書。400部限定で制作され、これはNo.366。
- f) Aymer Vallance, *The Art of William Morris*. London; George Bell & Sons, 1897. モリスの死の翌年に220部のみ出版された包括的な作品集。カラー印刷が美しい貴重本。





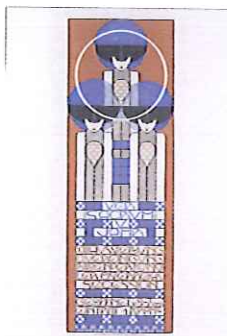
ポスター 3 (GUSTAV KLIMT)



ポスター 5 (JOSEPH MARIA OLBRICH)



ポスター 6 (KOLOMAN MOSER)



ポスター 12 (KOLOMAN MOSER)



ポスター 18 (JOSEPH HOFFMANN)



ポスター 24 (OSKAR KOKOSCHKA)

a(6点)

『アーツ・アンド・クラフツ運動の文献コレクション』(その2)

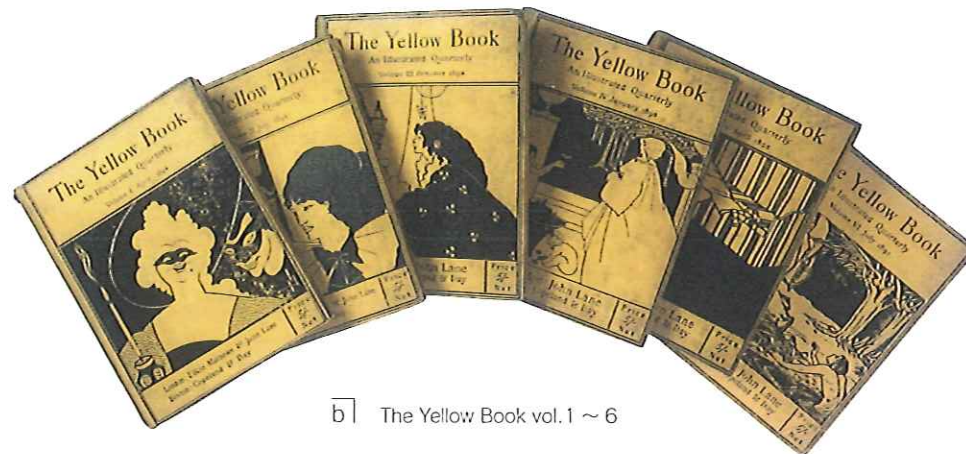
本前号に引き続き、本学が所蔵する「アーツ・アンド・クラフツ運動」関連の文献および作品 800 点あまりのうち 3 点を紹介する。

大量生産、大量消費が主流となった 19 世紀ヴィクトリア朝時代への批判意識を出発点とするアーツ・アンド・クラフツ運動は、英国のみならず、ヨーロッパ、アメリカのデザインや美術活動にも大きな影響を与えた。日本でも柳宗悦の民芸運動はこの流れをくむものとされている。生活と芸術の一致をめざした運動は、アール・ヌーヴォー、ウィーン分離派、ユージュント・シュティールなどにも受け継がれていた。以下の 2 点は 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての特徴をよく表す作品集および文献である。

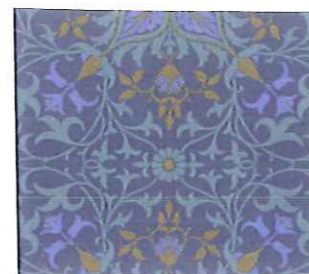
a) Kossats, Horst-Herbert. *Ornamentale Plakatkunst. Wiener Jugendstil, 1897-1914. Mit einer Einführung von Walter Koschatzky.* Alvertina VII. Vienna: Residenz Verlag, 1970.

ウィーンのみならず、ヨーロッパ各地にわたるさまざまな芸術イベントに関連するポスター 34 点の復刻版コレクション。それぞれのポスターの歴史的文脈や技法について解説がつけられている。収録されている作品は、グスタフ・クリムト、ヨーゼフ・マリア・オルブリッヒ、コロマン・モーザー、ヨゼフ・ホフマン、オスカー・ココシュカほか。

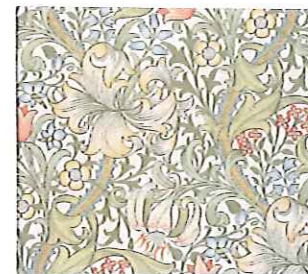
b) *The Yellow Book. An Illustrated Quarterly.* 13 volumes. Vols I-II, London: Elkin Mathews & John Lane and Boston: Copeland & Dale; Vols III-XIII, London: John Lane; Boston, Copeland & Dale, April 1894-April 1897.



b | The Yellow Book vol.1 ~ 6



壁紙デザイン p.1



壁紙デザイン p.5



壁紙デザイン p.31

c(3点)

19 世紀末のデカダンスを代表する挿絵入り季刊文芸誌として有名な『イエロー・ブック』。発行された 13 巻すべてが揃っている。グラフィック・アーティストのオーブリー・ビアズレーがデザインした特徴的な装丁が目玉。マックス・ビアボーム、アナトール・フランス、ジョージ・ギッティング、ケネス・グレアム、ヘンリー・ジェームズ、イーディス・ネズビット、H.G. ウェルズ、W.B. イェイツなど、19 世紀後半から 20 世紀前半に活躍し現在でもきわめて評価の高い作家、児童文学者、詩人たちが寄稿している。

さらに、アーツ・アンド・クラフツ運動の中心的存在であったウィリアム・モリスの壁紙デザインのコレクションを 1 点あけておく。

c) *Author Sanderson & Sons Ltd. The William Morris Hand Printed Collection.* London: Arthur Sanderson & Sons, 1963.

モリスがデザインした壁紙は 1863 年にジェフリー商会がプリントしたが、1930 年に版木がサンダーソン商会の所有となった。これは、1963 年にモリスの壁紙デザイン 100 周年を記念してサンダーソン商会が出版したもの。緻密な自然観察と様式化の絶妙なバランスが見事である。

鈴木 万里 (中野図書館長)